

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月26日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 斉藤 隆 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,177	△8.0	69	△86.6	241	△65.1	166	△66.1
29年3月期第2四半期	5,625	△3.6	519	△14.2	693	△9.9	492	△44.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	12.16	—
29年3月期第2四半期	35.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	44,426	38,903	87.6
29年3月期	44,551	38,790	87.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 38,903 百万円 29年3月期 38,790 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	40.00	40.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,460	△6.7	700	△57.8	1,010	△48.6	700	△48.9	51.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期 2 Q	16,500,000株	29年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期 2 Q	2,772,257株	29年3月期	2,792,331株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期 2 Q	13,720,939株	29年3月期 2 Q	13,706,629株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景として景気は緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費の回復は依然として鈍く、新興国等の海外景気の減速に対する懸念や、地政学リスクの高まり等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(平成27年4月から平成30年3月まで)において「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた新規事業領域の確立」を基本方針として「新規事業領域の成長基盤の構築」「薬用養命酒の収益体質の維持」「生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進」の各施策に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が前年同四半期を下回り、「その他商品・サービス」の売上は前年同四半期を上回ったものの、売上高は5,177百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。利益面につきましては、「養命酒」の売上減少により、営業利益は69百万円(前年同四半期比86.6%減)、経常利益は241百万円(前年同四半期比65.1%減)、四半期純利益は166百万円(前年同四半期比66.1%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は5,035百万円(前年同四半期比8.3%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、6月の改正酒税法の施行に伴い店頭における販売価格が上昇したことの影響等により売上が減少しました。一方で、商品パッケージのリニューアルによる商品価値の向上とお客様の利便性向上を図りました。また、新規顧客の獲得と継続飲用者の維持に向けて、6月中旬から広告キャラクターとして藤井隆さん・乙葉さん夫妻を起用したテレビスポット広告等の各種広告を集中的に実施し、広告と連動した店頭における販売促進活動を強化しました。国内における「養命酒」の売上高は、3,847百万円(前年同四半期比14.3%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に即した販売促進活動を実施しました。売上高につきましては、商品パッケージのリニューアルに備え香港への輸出を控えたことにより、95百万円(前年同四半期比33.6%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は3,943百万円(前年同四半期比14.9%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、「フルーツとハーブのお酒」等のコンビニエンスストアへの販路拡大、同商品の新フレーバー追加を行いました。また、「はちみつのお酒」等の新商品を投入した他、「健康のお酒」シリーズとして「ハーブの恵み」「琥珀生姜酒」「高麗人参酒」の営業活動を強化しました。酒類全体では、美容と健康を訴求した売場提案や販促物による店頭露出の拡大、ウェブキャンペーンを実施し、売上高は424百万円(前年同四半期比55.4%増)となりました。

「エイジングケア商品」につきましては、「生姜黒酢」「高麗人参黒酢」の発売、「グミ×サプリ」の商品リニューアル、「食べる前のうるる酢ビューティー」の新フレーバー追加を行いました。また、郵便局でのカタログ販売、保険薬局での「養命酒製造の黒酢」の販売も寄与し、売上高は322百万円(前年同四半期比29.4%増)となりました。

「くらすわ・養命酒健康の森」につきましては、ショップと通信販売の売上が堅調であり、「養命酒健康の森」の売上を合算し、売上高は315百万円(前年同四半期比6.3%増)となりました。

以上の結果、「酒類」「エイジングケア商品」「くらすわ・養命酒健康の森」にその他の売上を合算し、「その他商品・サービス」全体の売上高は1,092百万円(前年同四半期比27.8%増)となりました。

② その他

鶴ヶ島太陽光発電所と不動産賃貸の売上を合算し、売上高は141百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ125百万円減少し、44,426百万円となりました。これは主に現金及び預金が475百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の増加等により650百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が1,399百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ238百万円減少し、5,522百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価の増加等により繰延税金負債が197百万円増加した一方で、買掛金が114百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が285百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ113百万円増加し、38,903百万円となりました。これは主に四半期純利益166百万円の計上及び配当金550百万円の支払により利益剰余金が383百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が469百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1,224百万円減少し、1,653百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、337百万円の収入(前年同四半期比44.2%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益230百万円、減価償却費304百万円等の増加要因と、法人税等の支払額131百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,010百万円の支出(前年同四半期比39.2%増)となりました。これは主に有価証券の償還による収入800百万円、定期預金の純増による支出1,200百万円、有形固定資産の取得による支出415百万円、無形固定資産の取得による支出195百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、550百万円の支出(前年同四半期比0.4%減)となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の業績予想につきましては、平成29年10月11日に発表いたしました通り、売上高11,460百万円、営業利益700百万円、経常利益1,010百万円、当期純利益700百万円となる見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,938,118	4,413,627
売掛金	2,573,554	2,468,494
有価証券	2,700,091	1,300,228
商品及び製品	553,590	501,470
仕掛品	164,568	119,224
原材料及び貯蔵品	941,122	1,041,009
その他	162,748	269,427
流動資産合計	11,033,794	10,113,482
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,300,067	3,290,554
その他(純額)	3,000,645	3,080,884
有形固定資産合計	6,300,713	6,371,438
無形固定資産		
	362,720	325,031
投資その他の資産		
投資有価証券	17,804,192	18,315,999
長期預金	5,600,000	6,000,000
その他	3,455,173	3,305,605
貸倒引当金	△5,074	△5,074
投資その他の資産合計	26,854,291	27,616,530
固定資産合計	33,517,724	34,313,001
資産合計	44,551,518	44,426,484
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,723	250,557
未払法人税等	137,854	44,738
賞与引当金	211,067	197,093
その他	1,600,641	1,326,962
流動負債合計	2,314,286	1,819,351
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,398,607	3,655,274
固定負債合計	3,446,957	3,703,624
負債合計	5,761,244	5,522,976

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	690,705	690,705
利益剰余金	36,415,386	36,031,844
自己株式	△5,002,579	△4,975,884
株主資本合計	33,753,511	33,396,664
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,036,470	5,506,005
繰延ヘッジ損益	292	838
評価・換算差額等合計	5,036,762	5,506,843
純資産合計	38,790,274	38,903,508
負債純資産合計	44,551,518	44,426,484

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,625,386	5,177,837
売上原価	1,943,122	1,943,250
売上総利益	3,682,264	3,234,586
販売費及び一般管理費	3,162,830	3,165,083
営業利益	519,433	69,502
営業外収益		
受取利息	18,454	19,161
受取配当金	146,478	147,803
その他	16,688	13,163
営業外収益合計	181,621	180,129
営業外費用		
支払利息	6,791	7,145
その他	1,135	687
営業外費用合計	7,926	7,832
経常利益	693,129	241,799
特別損失		
固定資産除却損	10,873	11,748
特別損失合計	10,873	11,748
税引前四半期純利益	682,255	230,051
法人税、住民税及び事業税	163,000	55,000
法人税等調整額	27,054	8,205
法人税等合計	190,054	63,205
四半期純利益	492,201	166,846

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	682,255	230,051
減価償却費	268,036	304,300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,286	△13,974
受取利息及び受取配当金	△164,933	△166,965
支払利息	6,791	7,145
有形固定資産除却損	10,873	11,748
売上債権の増減額 (△は増加)	197,429	105,059
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,621	△2,423
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,385	△114,165
未払費用の増減額 (△は減少)	△41,980	188,921
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59,201	△54,542
その他	△118,813	△181,180
小計	818,137	313,975
利息及び配当金の受取額	161,616	166,216
利息の支払額	△13,093	△11,860
法人税等の支払額	△361,692	△131,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,969	337,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△2,000,000
定期預金の払戻による収入	1,800,000	800,000
有価証券の償還による収入	500,000	800,000
有形固定資産の取得による支出	△158,252	△415,165
無形固定資産の取得による支出	△67,836	△195,664
投資有価証券の取得による支出	△1,000,071	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△726,161	△1,010,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△199	△171
配当金の支払額	△552,713	△550,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552,912	△550,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	△114	64
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△674,219	△1,224,491
現金及び現金同等物の期首残高	2,938,343	2,878,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,264,123	1,653,627

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。